

大腸癌研究会プロジェクト研究

『腹腔鏡下大腸癌手術に関する研究』

委員会 議事録

研究代表者：伊藤雅昭

期日：2024年1月25日（木）10:00～10:30

場所：場所 浜松町コンベンションホール 6F 大会議室 C ※ハイブリット方式

出席者：佐々木恵、浜部敦史、澤田紘幸、小澤平太、吉満正義、堀江久永、中島紘太、馬場研二、問山裕二、神山篤史、藤井能嗣、山本大輔、小杉千弘、板谷 喜朗、廣純一郎、上野 晃平、岡村修、高橋玄、松橋 延壽、福長洋介、高見沢康之、坂本一博、齊藤修治、諏訪宏和、堀義城、藤田文彦、稲田涼、野上仁、小野智之、大淵康弘、池田正孝、惠木浩之、菊家 健太、川内隆幸、田代真優、山口茂樹、上田和毅、高橋佑典、福井太郎、白石壮宏、小畠誉也、秋吉高志、平木将之、宮倉 安幸、的場 周一郎、下村学、廣川高久、落合亮二、落合大樹、池田公治、伊藤雅昭、塚田祐一郎、記載不明の先生 2名

【順不同】 【敬称略】

議題 1. 本研究の主論文と副論文の進捗と今後の予定について

(国立がん研究センター東病院 伊藤雅昭)

主論文の概要を説明。

主論文は投稿済み。

副論文の担当と進捗状況は以下の通り。

副論文①：肛門機能に関するサブグループ解析 順天堂大学 坂本先生、高橋先生 → 論文作成中

副論文②：排尿機能に関するサブグループ解析 がん研有明病院 福長先生 → 解析済み

副論文③：性功能に関するサブグループ解析 埼玉医科大国際医療センター 平能先生、石山先生 → 解析済み

副論文④：QOLに関する詳細な解析 大阪医科薬科大 田中先生、濱元先生 → 解析済み

副論文⑤：肛門管近傍（AV41-55mm）の CAA/ISR と LAR の違い 横浜市立大 渡邊先

生、沼田先生 → 解析中

副論文⑥：有害事象もしくは手術から人工肛門閉鎖日が肛門機能に及ぼす影響 東海大学

山本先生 → 解析中

副論文⑦：晩期合併症に関して 広島市立安佐市民病院 下村先生 → 論文作成中

副論文⑧：腫瘍局在の違いによる治療成績の検討 東北大学 神山先生 → 論文作成中

副論文⑨：施設間差について 山口大学 鈴木先生 → 解析中

副論文⑩：経肛門ドレーンが早期・晩期合併症、肛門機能に及ぼす影響 京都大 肥田先生、
星野先生 → 解析中

議題 2. 排便機能に関するサブ解析(順天堂大学 高橋先生)

排便機能に関する検討結果を発表していただいた。

術後排便機能の悪化因子が同定された。

議題 3. 排尿機能に関するサブ解析 (がん研有明病院 福長先生)

排尿機能 (IPSS、OABSS、ICIQ-SF) に関する検討結果を発表していただいた。

術後の IPSS・IPSS-QOL スコア・残尿の悪化因子が同定された。

【質疑応答・意見】

・縫合不全があると排便機能が悪化すると考えられていたが、今回の検討では悪化因子ではなかった。その理由として、縫合不全があり永久ストマになっている症例がいることが影響している可能性が考えられた。

文責：塚田祐一郎